

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分  
 【発行日】平成 20 年 1 月 10 日 (2008.1.10)

【公表番号】特表 2004-510640 (P2004-510640A)  
 【公表日】平成 16 年 4 月 8 日 (2004.4.8)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-014  
 【出願番号】特願 2001-575943 (P2001-575943)  
 【国際特許分類】

**B 6 5 D 81/24 (2006.01)**

**A 6 1 F 5/01 (2006.01)**

**B 6 5 D 33/16 (2006.01)**

**B 6 5 D 85/50 (2006.01)**

【F I】

B 6 5 D 81/24 A

A 6 1 F 5/01 A

B 6 5 D 33/16

B 6 5 D 85/50 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 9 月 27 日 (2007.9.27)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 第 1 端、第 2 端および該第 1 端と該第 2 端との間に延在するパウチ長さ部分を備えるパウチであって、内部を画定するパウチと、

前記パウチの中で連続長を有する感湿性製品であって、前記パウチ長さ部分に沿って前記内部に配置される複数のセクションを備えたパッケージ構造に折畳まれ、それらセクションの各々が、少なくとも 2 つの折目とそれら折り目の間に広がって該パウチ長さ部分に沿って延在するセグメントとを有して構成される感湿性製品と、  
 を具備することを特徴とする装置。

【請求項 2】 パウチの中に連続長の製品をパッケージする方法において、  
 連続長の感湿性製品を用意するステップと、

前記製品を、少なくとも 2 つの折目とそれら折り目の間に広がるセグメントとを少なくとも 1 つのセクションが有する複数の相互接続セクションを備えるパッケージ構造に、折畳むステップと、

第 1 端、第 2 端および該第 1 端と該第 2 端との間に延在するパウチ長さ部分を備え、前記セグメントが該パウチ長さ部分に沿って延在するように構成されるパウチの中に、前記複数のセクションを封入するステップと、  
 を含むことを特徴とする方法。

【請求項 3】 連続長の製品を保管および分配する装置において、

連続長の感湿性製品を収容して保管するための内部を備えるとともに、第 1 端を備えるパウチと、

前記第 1 端に近接して前記パウチに結合されるようになっており、第 1 圧縮部材とその反対側の第 2 圧縮部材とを備え、それら圧縮部材が、該パウチの該第 1 端の形状を前記製品の形状に従わせるようになっている圧縮装置と、  
 を具備することを特徴とする装置。